

開催日時 8月 最終土日

参加資格 日本国内のアマチュア局

電波形式、周波数、空中線電力など

1200MHz以上のバンドで、参加者に許可されている全電波形式と空中線電力

参加種目及びコードナンバー (* ゲストオペでの参加は不可)

管内局	個人マルチバンド	KMLI
	個人1200MHz	K12I
	個人2400MHz	K24I
	個人5600MHz up マルチ	K56I
	社団マルチバンド	SMLI
管外局	個人マルチバンド	KML0
	個人2400MHz	K240
	社団マルチバンド	SML0

交信相手管内局 日本国内で運用するアマチュア局

管外局 信越管内で運用するアマチュア局

呼出 電信 CQ 2400TEST

電話 CQ 2400コンテスト

コンテストナンバー RS(T) + 市郡区ナンバー

得点及びマルチプライヤー

得点 コンテストナンバーの交換が完全に行われた交信を得点とする。(別記得点表参照)

同一バンド内における重複交信(同一局との2回以上の交信)は、電波形式が異なっても得点としない。

但し、2400MHz帯のみにおいては、電波形式が違えば得点とみなす。

得点表	1200MHz	1点
	2400MHz	2点
	5600MHz up	5点

マルチプライヤー 1バンド毎に異なった市郡区の数。

2400MHz帯において、モード別のマルチプライヤの重複は認めない。

総得点の計算 (2400MHz帯で、モード別のマルチプライヤの重複が無かった場合)

マルチバンド (各バンドで得た得点の合計) * (各バンドで得たマルチプライヤの合計)

(計算例) 1200MHzで10局9マルチ、2400MHzF3で8局7マルチ
2400MHzA3Jで6局4マルチ、5.6GHzで3局2マルチ、
10GHzで2局1マルチの場合

$$[(10*1)+(8*2)+(6*2)+(3*5)+(2*5)] * [9+(7+4)+2+1] = 1,449$$

シングルバンド (そのバンドで得た得点の合計) * (マルチプライヤの数)

(計算例) 2400MHzF3で5局3マルチ、A1で3局2マルチ
(両モードを通じてのマルチプライヤの合計が4の場合)
[(5+3)*2] * (4) = 64

5600up マルチ マルチバンドと同様とする。

報告書の提出 JARL 制定のA4版のもの。

自作の場合も、用紙サイズ、方向、及びフォーマットは上記のものと同形式とする。

ログシート記載上の注意

2400MHz帯においては、ログシートの備考欄に運用モードを記載する。

締切 翌週の月曜日 (消印有効)

提出先 支部長宅

審査 新潟県支部

発表 JN他

賞 信越管内、管外局に分けて、参加局数に応じてJARL会員に発行

参加賞は、100点以上の得点をあげたJARL会員(但し前記の賞を受賞した局を除く)に発行

* いずれもコンテスト実施年6月7日現在のJARL会員

注意事項 中継交信やレピータでの交信、及びクロスバンド、クロスモードでの交信は無効

複数部門への参加は認めない。

以上